



写真・市谷 健「夏の風も秋の風も好きよ」

先生の矢車草

福岡市の吉田千紘さんからいただきました。

——小学校のクラス会で、担任だった先生が、近所に住んでおられることがわかりました。とってもおじいちゃんと私たちは思っていたのですが、まだ七十歳になられたばかりのようです。

このごろ歩くことが大好きな二歳半の息子と散歩をしていて、偶

然、先生に出会いました。よく手入れをされていますが、だいぶ古びた木造のちいさなお家で、庭の花の手入れをしていました。

「せんせい、こんにちは」と声をかけると、「ああ」と教室にいらした頃の笑顔ですぐに思い出してくださいました。お別れしてからもう二十年近くなりました。

「そうか、息子さんか」。しゃがんで手を伸ばして、息子に「こんにちは」と握手をしてくださいました。「やわらかいなあ。いいなあ」と嬉しそう。

卒業して大阪にいたこと、主人のことなど、庭先でコーヒーをいただいて、帰りに空色の矢車草をくださいました。先生は奥様を亡くされて、犬と二人暮らしのようでした——。

昼休みに、赤ちゃんを抱いた元社員が訪ねてきている姿を見かけることがあります。なつかしい顔に会うのはうれしいものです。

株式会社ダスキン社長 伊東英幸

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る



葉っぱのアトリエから (16)

絵と文・葉っぱの画家
群馬直美

残暑のさなか、私たちが汗を拭いている間に木々は着々と紅葉・黄葉の準備を始めています。黄葉の代表選手はイチヨウくん。その葉脈はどこにたどり着くのか葉っぱを拾って眺めてみませんか？

左右どちらにも、これは手ごわい！

一番最初に緑色のイチヨウを描いたときの印象です。葉脈がまったく見取れないので、しばしお手上げ。

しばらくして、風の強い日に自転車に乗っていたら、大きな黄色いイチヨウの葉っぱと目が合いました。どことなく色褪せ、葉脈もところどころ変色しています。磁石に吸い寄せられるように拾って、再び描いてみたら、その奥深い魅力にとりつかれてしまいました。

葉脈の流れは呪文のよう。1本の脈が2つに分かれ、その先でまた分かれ……。先々の分岐点で「君は、いったい左右どちらの道を行くの」と聞かれます。まるで、あみだくじを引いているみたい！でも、行き止まりにはならず、どの脈もみんな葉っぱのへりまで来ていることに、妙にほっとさせられました。

描き終えた葉脈を、縁のほうから逆にたどってみると、枝分かれしていたものが、最後は1本の葉脈に合流。一見ばらばらに見えるものごとも、みんな同じものに向かっているのかな、と哲学させられました。

歴史の生き証人

『東洋の英知』とゲーテに称され、『生きている化石』とも呼ばれているイチヨウくん。今から一億五千万年前には地球上に存在していたそうです。まだ恐竜が闊歩していた中生代のジュラ紀から、生物や人類の歩みを見守ってきた生き証人なんです。

時は流れて鎌倉時代。中国に留学していた僧が持ち帰り、日本全国に広まったとか。長寿のため巨木になり、しかも燃えにくいイチヨウの木は、天然記念物にご神木にと出世していきます。明治にな



イチヨウ 12月23日

あみだくじ



イチヨウ 8月26日



イチヨウ 8月20日



「でしょ。ちょっといでしょ」
福島県会津若松市 渡部典子

GOROthine
FASHION
GRAND PRIX

露出度6000万デビュー!!

「イイ感じのあなた、
写真を送ってください。」



「歯が2本でもイケちゃうの」
愛媛県四国中央市 大西博子



「孫には勝てるワケないです。
橋本県矢板市 桜井エミ子」

「出してみたら?」と友人や家族に勧められた我ながらうれしい写真、どこかに眠っていませんか? 本紙に発表して、600万人の読者にお披露目してください。ステキなわたしやかわいいペットが撮れたら送ってね。故郷のおばあちゃんも喜んでくれるかも。お待ちしてま〜す!
(詳細は7ページ)



おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ

ると、東京・小石川の植物園内のイチヨウの木から精子が発見され、世界の植物学者もあっと驚く大ニュースとなりました。すべての歴史を記憶した独特な葉脈には、私たちの進むべき道を示すメッセージがぎざみこまれているのかもしれない。

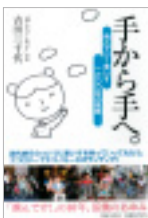
「和風コーヒームース」 緑茶を添えて、甘みは黒みつ

市販のパック等のコーヒードで作る簡単ムースに、黒みつときなこをトッピング。???な組み合わせですが、これが実に美味しいのです。「くず餅」や「わらび餅」とはまた違ったテイストで楽しめます。暑い日には冷たい緑茶がとて良く合います。

◎下準備(3〜4個分)
板ゼラチン2枚(1.5g×2)はハサミで4分の1くらいに切って、お皿に入れてかぶるくらいの水でふやかす、冷蔵庫に入れておく。

◎作り方
ミルクパンに市販のコーヒード飲料(無糖か低糖)100ml、黒みつ大さじ2を入れて火にかける。沸騰直前に火を止めて、冷蔵庫でふやかしておいた板ゼラチン水を絞って加え、火からおろして余熱で溶かす。よく混ぜてゼラチンが溶けたら別のボウルに移す。底に氷水や保冷剤などを当てて、冷やしながらゆつくりと、とろみがつくまで混ぜる。
生クリーム100mlを氷水に当てながらホイップする(全体が重くもったりした感じで7分立てくらい)。泡立てした生クリームをコーヒードの中に入れてさつと混ぜ合せ、マールブル状になるようにする。混ぜ合わせたコーヒークリームを器に流し入れて冷蔵庫で3時間くらい冷やし固める。(そばをよくを器にしてもおもしろいです)

ちょっと
おしらせ



「手から手へ。飛んで!車いす一六〇〇台の笑顔」
編者 吉田三千代
共同文化社 (TEL011-251-8078) 1500円+税

449号でご紹介したNPO「飛んで!車いす」の会が10年目を迎え、活動の歩みを本にまとめました。457号でも本紙の読者が外国へ運んだ体験記をご紹介、まだ反響があるそうです。海外旅行のついでに車いすを持って行ってもらい、現地の人に手渡しする輸送費をかけないエコノミーボランティア。わくわくするほど楽しい出会いがあり、世界がかかえる多くの問題に気が付き、具体的に学び、心のどこかで「人間ていいな」と思える、まさに草の根交流の本。

◎トッピング
冷やし固めたコーヒームースの上にきなこ少々と黒みつお好みの量をのせて完成。スプーンで混ぜてお召し上がり下さい。



アート&エッセイ。
『木の葉の美術館』『木の葉の宝石箱』(各2100円)。
最新刊『街路樹 葉っぱの詩』(B5判232ページ/2310円)いずれも世界文化社刊(価格は税込み)。

群馬直美/群馬県高崎市生まれ。東京都立川市在住の画家。作品はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.wood.jp/konoha/>

東京JR中野駅の近くにあるお家カフェは、6つの顔を持つお店だ。日替わりでスタッフやメニューが変化する。とは言っても落ち着いた感じはなく、空気はほんのり隠れ家風。水曜日の「ウネルクネル」をお訪ねしてお話を聞いた。



佐竹秀史さんと恵さん。ひとも腕もいいなあ。夢と仕事に頑張ってます。



まずはコトバのタネ証し
日替わりでもウナカメラは一つ

ウナは一つ、カメラは部屋とか箱、リーベラは辞書で調べても出て来ないが自由の国という感じ。イタリア語だそう。ちょっとおしゃれ。別名「MYMYカフェ」というのも、「私の」という意味と「毎々」のことかと思うと、なんかカワイイ。

オーナーの丸山さんは「いろいろな魅力を持っているので、それぞれやりたい人が力を発揮する新しい場」としての一つのお店にしたいとか。

だから、写真や絵のギャラリーになっっている日もあれば、音楽の演奏会と食事で軽いライブの日も他に教室など、とても多彩です。

各曜日のスタッフは皆、一番好きなことに力一杯。なのに、肩肘はらずナチュラル。お訪ねしたのは水曜日。「ウネルクネル」の若い夫婦がタイ風にアレンジした野菜たっぷりのご飯を食べさせてくれた。

曜日ごとにご紹介すると(月曜が休日)、

(火)「月夜と珈琲」満月の夜はキャンドルナイト。

(水)「ウネルクネル」玄米と有機野菜でタイご飯。

(木)「Vegetable Heaven」やさいオンリー野菜天国。

(金)「uscate」明日カフェ。満足のボリューム感。

(土)「楽々庵」安心素材、玄米菜食。けど心の楽ちゃん

にはお酒も大切なので充実させてます。

(日)「エントツそうじ」自家製薫製がウリ。もち、

ウナカメラ リーベラ

Art Gallery & Cafe
una camera libera



【玄米ご飯のランチ】厚揚げのトマト煮、ズッキーニの胡麻あえ、ニンジンとレーズンのサラダ、水菜のサラダ、大根と地鶏の煮物。おいしいもん食べると幸せ。それだけで喜びのタネもらった気がします。



【タイ風サラダご飯】たっぷりの緑の野菜とピリ辛のひき肉を混ぜて食べます。フライドオニオンと胡麻がきて、完食したときの満足感に思わずふふふ。



お酒と相性よし。黒豆茶も珈琲も自家製。

うーむ、なんというバラエティ、料理人ごとに6つの個性の味、そして共通するのは有機野菜たっぷりヘルシーさ。スタッフの年代も若い人から40代と様々だそうで、日替わりで行ってみるのも面白いなとついつい思いました。

「お客様は若い人、子連れのママ、買い物帰りの年配の女性、ご夫婦、いろいろですよ」

**夢はいつか自分のお店を持つこと
できればタイにオープンカフェ(！)**

「ウネルクネル」の二人は佐竹秀史・恵さん夫妻。すごく若く見えます。「いえいえ、もう36と32歳で7カ月の女の子もいるんです。もううー、子供って可愛いですよね」とたちまち安らぐお言葉。

もともとタイが大好きで二人でもう20回位訪ね、味にも魅せられた。この味を玄米や有機野菜を使い、毎日食べても飽きないオリジナルな「タイ風」ご飯に。「私達は水曜ですけど、普段は別の仕事をもっているんです。ここで勉強しながら経験を積んで、いつかカフェをやりたい。夢は大きく、理想はタイで。そういう人、多いと思います」

キッチンはもちろん共有部分なので、常時置いておくものには、ピンに名前を書いたりするが、こだわりの素材などは全て自分で注文した物を持ちこむし、ケーキは自宅で焼いてくる。このケーキがめちゃ美味い！ タイ風というより「メグミ風」。



【自家製さわやかトムヤムヌードル】生のレモンをしばって使用。だから辛みも爽快なのです!もちろんな野菜もたっぷり。



【マンゴーチーズケーキ】むむむ?の取り合わせと思いきや、それぞれが主張しすぎず渾然一体。ひかえめな甘さに、ハスのお茶が爽やか。また食べた〜。(季節替り)



ご飯もセンスと工夫のある感動の味でした。

このカフェ、単に場所をシェアするというのではなく、一つのお店の中で刺激しあい学びあい、みんなのチャレンジの場になっているというのが新しい。住宅街にある静かなお家カフェは、意欲のある若者が力を蓄えて羽ばたく場なのでもありました。



悲喜交々

岐阜県中津川市 川上浩美

定年から再就職した後、帰郷し、母の手伝いで野菜作り。その母も8年前に逝き、今は家内と共に見よう見まねで、色々な野菜を作り、新鮮な朝取りを楽しむ。豊作で食べきれず、ナスをご近所に届けたら無人ボックスで一山100円。知人に枝豆をあげたら「僕はビールを飲まない」…。

一方で「いいシラスがあるから大根を一本くれないか」と頼まれたり実ったトウモロコシを見て、「美味しそうですね」と褒められることも。そんな時は喜んでおすそ分け。畑の成果は悲喜交々の隣の畑で、母と仕事をしていたおばさんが、「生前、おばあちゃんが、『若い衆がやってくれるので、やるのが無くなった』と言っていたよ」「……」親孝行のつもりが、母の楽しみを奪ったかも。折々に初取り野菜を仏前に供えて合掌！

——夏の朝、夕立や虹、いつのまにか秋の気配も……



飛んでいったチイちゃん

岡山市 紙谷久仁子

ツバメが今年もやってきました。一人暮らしの母が電線のツバメに話しかけます。「お帰りチイちゃん、でもおじいちゃんはもういないよ」

数年前、巢から落ちたのが、生まれたてのツバメの雛に、父は毎日つぶしたご飯を食べさせ、数週間後はハエを取って餌にしたりしていました。いつの間にか「チイちゃん」と呼ぶと、父と母の肩や手に乗るように。田舎に2人で暮らす両親は、家族が出来たように喜んで、笑顔いっぱい。

「わかるのかな？言葉……」

秋が近づいた日です。電線に2羽のツバメ。「そろそろ南に帰るんだね」子供に話すように、「お父さんとお母さんが迎えに来たみたいだね。ありがとう楽しかったよ。気をつけてお行きよ」

3羽は大空をクルクル回って飛んでいきました。今年父の7回忌。8歳の母が言います。

「お帰りチイちゃんの子供かい？待ってたよ」

——大空の下、このちいせもめへへ。



母と子

兵庫県姫路市 浜本礼子

ある日曜日、若い母親が乳飲み子と6歳、4歳くらいの男の子二人を連れて電車に乗り込んで来た。「ああ、よかった！」電車に間に合ってホッとひと息……。席に着くと一番上のお兄ちゃんがゲームを始め、真ん中の子もチョココンと行儀良く座っている。母親は一番下の子を抱え膝に降ろした。

「ちょっと待ってね」と声をかけ、窓側に寄り、胸を覆うようにして抱き、お乳を飲ませていました。自然にサラッとふるまい、その横で上二人の男の子もおとなしくしており、缶入りの飴を取り出して「いる？」と聞いたりしています。

今はほとんどの家庭がマイカーで、幼子連れで電車移動する姿は少なくなりましたが、この母と子のほほえましい光景に、昔はこうだったなと、ほのぼのとした気分になりました。「子育て頑張ってるね」と心つぶやいて駅を降りました。

——自然にあるがまんまがステキ。



医食同源

熊本県合志市 出口和子

仲良しの友人宅でお食事をいただきました。その日のお惣菜は全て、離れて暮らしている医学部大学生の娘さんが送ってくれた野菜でこしらえた特別メニュー！彼女の娘さんは、借りているアパートの近くの畑で、近所のお年寄りに教わりながら野菜作りを覚え、収穫した野菜を実家へ送ってきたそうです。その娘さん曰く、

「お母さん、食が一番大事よ！」とのこと。……まさに「医食同源」の思想です。

その日いただいたメニューは、ほうれん草の白和え、里芋の衣かつぎ、かぼちゃのサラダ、根菜類のお煮染め……どれもいたいたいても、それはそれは美味しく、感激して頂戴しました。

都会の大学では、とつてい学ぶことの出来ない貴重な体験。きつと素晴らしい女医さんになられることでしょう。

——「いつか女医さんと結婚したかった……」(涙)でした。

うれしかったら
私はうれしいことがあると、
自分はこんなにも恵まれていいのだろうかと
心からのお礼を神さまに申し上げずには
いられないのです。
そうしてお誓いすることは
「今度、万一苦しいこと、いやなことが
起こっても、いまのお返しに不平や苦情は
申しません」と祈ることを忘れません。
喜びの大きかっただけ反省をし、
思い上がりを捨てる自分になろう。

鈴木清一



親の気持ち

千葉県成田市 椿さおり

私の実家へ帰省した際、3歳の息子は父とカブトムシ取りへ。結局、そのカブトムシ達は田舎のお土産として持って帰ってきたのですが、餌をあげたり、お世話しているのは私だけ…。息子に自分で餌をあげなくちゃ！と促すのだけれども、「ボクもエサ食べたい！」と意味不明の返事。

私は現在、旦那さん、息子、そして5匹のカブトムシの餌ならぬ、ご飯の支度に毎日頑張っています。

小さい頃、母に「犬がほしい！」と頼んでも、「どうせ世話しなくなるからダメ!!」と言われたっけ。親になって3年。今やっとあの頃の親の気持ちが分かります。これから先、もっともっと、分かることがあるんでしょうね♥

——あるんですよ。で、今日のご飯は何にしよ？

「夏休みって、どーして終わっちゃうんだろ?」



長野県飯田市 佐藤幸子

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。
どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先
〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿支店新宿住友ビル内分室 私書箱 第47号
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

無料

おそうじ相談
実施中!

ダスキンコールセンター
平日の9:00～17:00
☎ 0120-100-100

●2ページの群馬直美さんの連絡先は
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.3 2F
今年の「石田倉庫のアートな2日間」のアトリエ展は10月18、19日10:00～17:00 連絡先/山上一郎(家具工房 木とり) TEL: 042-525-4403

●4～5ページのウナカメラリーベラの連絡先は
〒164-0001 東京都中野区中野2-12-5 メゾンリラ101 TEL: 03-5340-8292
月曜定休(祝日の場合は翌日がお休み) 12:00～20:30(金曜は～22:00)
ホームページ: www.unacame.com

あなたのお便りや 写真をお寄せください



オーシャンブルー

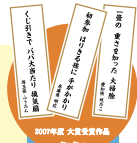
兵庫県姫路市 朝見房子

我が家の裏に分譲住宅が建ち、南側をはしる農道が舗装された。夏はコンクリートの照り返しで、リビングの気温が急上昇。そんな折、夫が知人からオーシャンブルーをもらってきた。別名「西表朝顔」。暖地向きだが温暖化の影響か、5月から咲き始め、濃い緑のスタレトとなって、部屋に柔らかな涼をおくる。秋を過ぎ12月に入っても、咲いています。早朝は明るい紫色の花。時間と共に徐々にピンク色に。日に数十も花が開くことも!散歩中に立ち寄る人が「種をいただけませんか?」

「これは種が出来ません。土に挿して下さいね」
伸びた茎を切っては、よくおすそ分けをします。

手間いらずで半年間も楽しませてくれる朝顔に、明日への活力をもらっています。

——名前もステキ、宝石や香水みたいで。



第3回ダスキン大掃除川柳コンテスト開催

大掃除にまつわる出来事や想いなど「575」でどしどしご応募ください。
優秀作品には賞金を差し上げます。
応募は、ハガキ・封書またはインターネットで。

●応募期間
平成20年10月1日(水)～11月20日(木)

●応募条件
入選作品の著作権および第一使用権は(株)ダスキんに帰属します。詳しくは、9月1日から公開する下記専用ホームページをご覧ください。

●応募方法
【ハガキ・封書】
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
「ダスキン大掃除川柳コンテスト事務局」宛

【ホームページ】
(パソコン) 575.duskin.jp
(携帯) 575.duskin.jp/m

※川柳作品と必須項目(住所・氏名・ペンネーム・性別・年齢・連絡先の電話番号もしくはメールアドレス)をご記入してご応募ください。一回の応募で3作品まで。何回でもご応募いただけます。

*お預かりした個人情報は、本コンテストの受付に利用させていただきます。また、個人を特定できない形で(株)ダスキンが管理するホームページや情報誌の誌面に利用させていただきます。

問題.
ヨコに並んだ文字を入れかえて、正しい言葉にしてください。
(白い文字は、動かさせません)。全部できたら、二重のマス目の文字だけを取り出して、正しい言葉に直してください。

ン	ゲ	ン	カ		ツ	サ	ア	イ	
		サ		イ	デ	ア			
				ザ			リ	コ	ホ
ス	ク	ロ		ヌ	イ				カ
シ	キ	チ	ジン			ガ	ヤ	ワ	

答え
□□□□ デビューで
選ぶ楽しさが増えた、
オーダーメイドマット。

*467号のクイズはお休みさせていただきました。

正解者の中から30名様にダスキングift「キッチンきれいセット」をプレゼント!下記の要領でご応募ください。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成20年10月中旬お届け予定)

- 官製ハガキに ①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号をご記入の上、下記あて先までお送りください。
- 締め切り 平成20年10月3日(金)当日消印有効 ●ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- あて先 〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係
- 応募に関してのお問い合わせ TEL: 03-5909-6703 ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
- 今回応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。



新作デビュー!
デザインカタログで選ぶか。
ホームページを見るか。

- 339種類の多彩なラインナップの中から、お好きなデザインを2つ選んでください。お名前、メッセージを入れてお届けします。
- マットの特殊パイルと吸着剤が砂、ドロ汚れ、小さなホコリもキャッチ。
- マットは4週間ごとにお取り替えします。お手入れいらずで、いつもベストコンディション。



**ダスキン家庭用玄関マット
オーダーメイドタイプ**

4週間標準レンタル料金 **1,155円(税込)** 1-1322

- サイズ:約60×90cm ■厚み:約10mm ■機能:吸着剤加工(SOA加工)静電気防止機能(ホルター機能)防炎機能 ※写真と実際の商品の色は多少異なる場合があります。予めご了承ください。 ※デザインごとに表現できる文字数に制限があります。
- ◎ご希望の方は、お客様係まで。デザインカタログをお持ちします。

ホームページで、玄関に合うマットをシミュレーション!

わが家に近い玄関・扉・床・壁を選び、あとはお好きなデザインをチョイス!
これでわが家に合うマットがイメージできます!

www.duskin.jp **サイト内検索**

ダスキンのお客様係募集中!!

- 主なお仕事内容 ●ご契約先のお客様宅への定期訪問 ●ダスキン商品やサービスのお知らせなど

詳しくはWEBで

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行: 広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室
〒163-0232

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただきます場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター
0120-100100 www.duskin.jp